

☆★今後、鹿屋市が重点を置くべきデジタル政策に関する自由意見★★☆

年 代	自 由 意 見
10 歳代	● 公共の場で Wi-Fi があると、いつでも連絡や確認ができると思うから。 ● 学校の教科書などを全部デジタルにしてほしい。毎日教科書を持っていくのはつらい。 ● 行政の手続きの利便性が高まれば良いと思う。 ● スマホを使いこなせてない世代とそうじゃない世代を比べたら災害の時に必要な情報に格差が生まれると思う。鹿屋市には全ての世代を大切にしてほしいし、そうすることによって幸福度とかも上がっていくから。例えば回覧板などのアナログな媒体に「スマホの使い方」みたいなコーナーを作って年配の方々のインターネットに対するハードルを下げるように努めてほしい。 ● デジタル化にするのはいいと思う。
20 歳代	● 会社内の案内等を電子化していきたいのに、パソコンやスマホの操作が苦手な方が多く教えるのも大変なので、パソコン教室やスマホ講座等を企業に来ていただいて行っていただけるサポート等があると嬉しい。 ● このようなアンケートはオンラインですべき。資源削減。
30 歳代	● 今始めないと 10 年、20 年後に他県から取り残されてしまうので、早めに取り組んでいるので良いと思う。この間のニュースであった、鹿屋女子校の VR 入学体験など。 ● インターネット関連の設備は NTT と合同で定期的な施設更新をしていくべき。 ● 市内で現時間に受診可能な病院が一覧でわかるアプリ等あれば助かる。 ● 高校 2 年生からタブレットを自費購入しなければならないが、とても高額なので市や県から補助等が出てほしい。 ● 観光に力を入れるべき。 ● 医療に関してはデジタル化してもいいと思う。若い世代が増えてきているのもあるし、スマホを持つ人が多くみられているし、手間が省けると思う。 ● 鹿屋の空気（におい）の問題解決していただきたい。 ● 鹿屋市のアプリに参加型でポイントを貯める仕組みを作り、ポイントが貯まればゴミ袋や地産の野菜やお肉にするとますます参加者が増えそうである。あったらすみません。 ● 説明不要で誰でもできる容易な手続きや申請方法を考える。 ● 市役所に行く手間を少しでも減らしたい。 ● 災害があったときに情報が入りにくいので全世帯に有線放送をつけてほしい。 ● 海外からのお客様に対して WiFi が充実した方がいい。 ● 行政の手続きのオンライン化は、すべての効率につながると考える。 ● プログラミング学習等まだまだやらなければならない事がある。
40 歳代	● 鹿屋市は範囲が広い為、色々な手続きを一箇所（各支所など）で完了できればよいと思う。 ● 特に高齢者はデジタル化に疎いと感じる。スマホや電子申請の普及がもう少し容易に行えるとありがたい。

年 代	自 由 意 見
40 歳代	● 一部高齢者にはスマホ不保持者や若くて持っていない人も不慣れな人もいる。そのような人が置いてきぼりにならないようにフォローが必要。 ● 災害が多発し、いつ何が起こるかかわからない現代なので、デジタルの活用により未然に防げる被害を多くしていきたい。 ● 吾平の一部はインターネットが通っていない。携帯ショップの方も、ビックリ！ ● デジタル化にすることで高齢者詐欺等が増えないか？ ● バスに乗った時、IC カードか現金しか選べず不便だった。でも超高齢社会でデジタル化って難しいのでは？理解するのが難しい人が多いと思う。何でもかんでもデジタルってうるさい。 ● 移動手段は主に車だが、高齢者の移動がもっとしやすくなるための方法がたくさんあるといい。 ● パソコン苦手なので、もっとパソコン教室を開催してほしい。 ● 通信環境の拡大。 ● 公共施設の WiFi は必須にしてほしい。避難しているとき、リナシティや図書館で勉強するところもあれば助かると思う。 ● 情報発信はイベントの発信がほとんどだが、避難所の豆知識なども発信してもらえたらためになるので助かる。 ● デジタル格差は高齢者の問題だが、キャッシュレスのしくみ、マイナンバーカードの認証の仕方等、高齢者には難しい部分も多いと思う。まずは公民館等で勉強会みたいに周知するといいかもしれない。 ● 市役所職員業務のデジタル化推進。 ● デジタル化の前に下水道の整備が先ではないかと感じるが……。 ● 高齢者が多いまちなのに、デジタル化をはかるとほとんどの市民がついていけないのでは？古き良き文化を残しつつデジタル化を進められないか？ ● デジタルが全ていいとは思わない。若くても苦手だし、未だに分からないことが沢山あるので魅力を感じない。
50 歳代	● デジタル化はコスト削減や、わざわざ出かけずに済むなどメリットは多い。でも、まだまだデジタル化についていけない人たちも多い。 ● 高齢者を置いていかないデジタル施策。 ● 病院の支払いがキャッシュレスにできると良い。 ● 道路の除草や木の枝などの管理ができておらず危険個所が多い。以前は街がきれいだったのに、どこも草に覆われている。(空き家の管理なども) ● 各家庭の wifi 料金を無料化にて、防災情報を全家庭受信できるようにするべき。(なにもかも高騰している中で、必要なものも手に入れられなくなっている) ● デジタル化しても、それを利用できない人(携帯スマホを持っていない・パソコン等を持っていない or もてない) がいることも考えてほしい。 ● 災害時に双方向からアクセスできることが必要と思う。 ● 高齢な両親もおり、自分たちも年を重ねるにつれ、あまりデジタル化されても困る。

年 代	自 由 意 見
50 歳代	● スマホありきにする前に知識の平準化を図ってほしい。 ● あまりデジタルに頼るのも良くないが、他の地域の人が鹿屋市の良さをもっと知れるようにした方が良い。 観光や美味しい店の情報など。
60 歳代	● デジタル化に不安な人にも、やさしいデジタル化もあることも周知をお願いしたい。何でもデジタル化すると不安が増す。 ● パソコン、スマホを使っていますが、十分活用できていない。使い方、見方がわからないことが多い。 ● 一次産業においては、獣害対策など時間や金銭面などが重くのしかかっている。山間部においては高土手の草刈りなどとても大変である。リモコンを使っている器械土手払いなど積極的に取り入れてほしいと思う。 ● 私自身、デジタル化についていけないと感じているので、わかりやすい、活用しやすい、安全なデジタル化を望む。 ● データの閲覧ができて、証明書等の発行ができるシステムにしてほしい。 ● 町内会回覧を配布するのが大変なので、回覧関係も全てデジタル化してほしい。 ● 公共機関の充実。 ● エルグや会員制のスポーツクラブが欲しい。 ● デジタル社会についていくことが出来ない一人である。そういう人たちも取り残されないように。 ● 個人的にデジタル化は難しくてついていけない。 ● スマホを上手に使いこなせないから、アナログで良い。 ● 最近デジタル化が進んでいるが、高齢者にとっては対応が難しいことも多々あると思う。対面での対応も必要。 ● デジタル化が進むと、私達高齢者にはますます生きづらくなってくると思っている。なんでもかんでもデジタル化することに私は反対である。 ● いろんな行事・映画の情報が目立たない。垂れ幕をするとか？ ● 全てにデジタル化は必要。時代に合う取り組みが必要。 ● 医療・福祉での支援は遅れている。 ● デジタル化を進めるのであれば、すべてを重点的に同時にすべき。 ● 人口減少が明確になってきている中、交通インフラや防災などに特化したまちづくりを進めてほしい。 ● 災害が発生時や大型台風接近時等の鹿屋市の緊急情報の充実。(例えば、市内の避難の具体的指導・道路情報・停電情報・鴨池・桜島フェリーまで) ● デジタルは苦手。 ● 行政無線の聞き取りにくさが目に余る。テレビ、ラジオ等の音声のように、もっと明瞭にわかるように早期改善を。 ● コンビニでの住民票発行がとても良いと思う。 ● 不正や詐欺対策、ウイルスや個人情報管理。
70 歳代	● すべてデジタル化には少し抵抗がある。 ● 詐欺防止のためスマホを下げている。パソコンやスマホの使い方など広めてほ

年 代	自 由 意 見
70 歳代	しい。(近くの公民館などで) ● アナログで育ったのでデジタルについていけない。 ● 活性化の一環だと思うがプレミアム商品券は非常に有意義だと思う。 ● 地域内でも経済格差が物価の上昇により大きくなってくると思うので、低所得者層への支援も考えてほしい。 ● 無責任だが自分が機械に弱いので、何もかもデジタル化になったらついていけなくなると思う。なのでよく分からない。 ● あまりにもデジタルに進むとトラブルが多くなると思う。 ● 高齢のため必要ない。 ● 私は昭和 41 年に「電子計算機」というものに会って、「将来は電子計算機が世の中を制する」と強く感じた。昭和 44 年にコンピューターを相手にする仕事（OS の開発）に就いた。47, 8 年頃は、通産省が電算機業界の育成を手掛け、都市銀行業界がコンピューター化を進めたところである。一方、自治体にコンピューター導入の動きが始まり、自治労が「コンピューター導入反対」を唱えている頃だった。今や、行政も民間も、コンピューターなしでは成り立たない世の中になり、このアンケート調査が、このような形で出来るようになったことを喜んでいる。しかし、デジタル化に飲み込まれ、人間性がなくなならないようなデジタル化に努めていただきたい。コンピューターはあくまでも道具であることを忘れないでほしい。チャット GDP は電子頭脳ではなく、道具であることを忘れないでほしい。創造は人間でしかできないことを肝に銘じて、デジタル化を進めてほしい。 ● 住宅を建てる時に過去に経験したことで正確には覚えていないが、納税証明を税務課で取得して、他の課（建設課？）に提出を求められたことがある。「市民に持ち回りさせずに、どうして担当課内でやり取り出来ないのかな」と思った。今は、デジタル化されているから改善されていると思われるが、このようなことが行われてないか、今一度見直し、このようなことで市民の手を煩わせないようにしていただきたい。マイナンバーカードは国・自治体間でも情報のやり取りが可能なのはいいが、同様なことが出来るようにならなければ、マイナンバーは普及しないと思う。例えば、免許証の発行・更新時・健康保険の利用状況のデータなど、納税証明など、市町村と県と国との情報の共有化などたくさんある。健康保険証を廃止しても、月が替われば、健康保険証の代わりにマイナンバーカードを病院の窓口で提出しなければならないだろうから、何のメリットもないのではないか。 ● 運転免許証の写真とマイナンバーの顔写真はどうなるのだろう？ ● ガラケーで私には無理。高齢でスマホでもないし、デジタル化についていけないと思う。でも子供達は活用して喜んでいる。 ● 年寄りに優しい町（先祖があって今があることを感謝しながら） ● デジタルばかりをいわれると読み書きできなくなりそうである。時代についていけない。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	● 広報誌を見ている方が何パーセントいるかわかりませんが、デジタルに変化している。 ● 市が保有するデータは市民全体の財産であり、全て閲覧できるようにすること。企業はこのデータにより事業戦略が構築できる。 ● 行政手続きを最優先にしてほしい。
80 歳以上	● パソコンを持っていない人へ配る。何も始められない。 ● 年寄りなのでよくわからない。 ● 高齢者は機械等に弱い。